

2024年度 第7回11月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2024年11月20日(水)
2. 開催の場所 栃木放送本社会議室
参加できない委員には資料を送付して番組をお聞きいただき、意見・感想を返信してもらう形式で開催。
3. 委員の出席 委員総数9名
返信総数名4名
出席総数名5名

| | | |
|-------|------|------|
| 出席委員名 | 委員長 | 増田仲夫 |
| | 副委員長 | 河又弘子 |
| | 委員 | 竹内明子 |
| | 委員 | 石松英昭 |
| | 委員 | 若井明香 |
| | 委員 | 高橋久夫 |
| | 委員 | 小川俊彦 |
| | 委員 | 藤原紀沙 |
| | 委員 | 井出智子 |

4. 議 題

- (1) 9月23日ライトキューブ宇都宮で行われたセミナーを収録
「不登校は問題じゃない」

試聴素材 11月3日日曜日 10時～11時

- (2) その他

5. 議事内容

- (1) 「不登校は問題じゃない」について
番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴して頂きました。

議題説明

令和6年9月23日(月・祝)ライトキューブ宇都宮にて、「不登校は問題じゃない」をテーマに学校で悩みや不安などがある子供たちや保護者に向けたトークイベントを開催しました。

- ・トークテーマは不登校との向き合い方について
- ・通信校の意義・役割について etc.

当日のセミナーの様子を編集して放送致しました。

出演者

- ・教育評論家 尾木直樹さん(尾木ママ)
- ・成美学園グループ 会長 酒井 秀光さん
- ・フリーアナウンサー 新保友映さん

各委員からは

○この番組は、教育現場や制度に精通し、子どもや保護者への暖かい視点を持つ登壇者と進行役を迎えたイベントを元にしており、不登校の当事者や保護者の参加も加わったことで、悩みを抱える人々に希望や勇気を与えたと評価されます。番組自体も音声編集、構成が適切で、YouTubeなどSNSとの連携も行われましたが、番組内でのSNS紹介があればさらに良かったとの指摘があります。課題としては、こうした社会的テーマを継続的に扱うための企画力、営業力、人材の確保が挙げられ、スポンサーやパートナーがメリットを感じられる仕組み作りが必要。これにより、県民にメリットのある番組作りが期待されています。

○不登校とか低血圧の話題を取り上げていて、すごく考えさせられる内容でした。例えば、低血圧のせいで朝起きられなくて学校や仕事に遅れる人がいるとか、腸の不調でガスがたまって、それが原因で学校に行けなくなっちゃった子供の話なども出てきて、「ああ、こういう体の問題で学校に行けなくなることもあるんだな」って思いました。また、不登校の子供たちを支援するための学校とか通信制教育の話もしてて、最近の学校の統廃合などの効率化で、そういう選択肢が減っちゃってるのは問題だなと感じた。もっと個々のニーズに応えられる学校や通信制の仕組みを作るべき。不登校の子供たちやその親に共感して寄り添うことの大切さがすごく強調されてて、共感ってやっぱり人間関係の基本だよなって思いました。昔の交番みたいな地域のつながりが薄れてるのも、教育や治安に影響してる気がするし、そういう意味でも、このラジオの内容はすごくいい話でした。

- 少子化や不登校の増加といった課題に焦点を当てたトークイベントが、時宜を得た企画としてとても良かった。アナウンサー新保さんの軽快な進行と、「尾木ママ」や酒井さんのわかりやすい解説、不登校の生徒や保護者の実体験を踏まえた議論が特に良かったと感じられた。また、「教育機会確保法」や「子供基本法」による教育環境の変化についての解説が大変勉強になり、変化する社会に合わせた教育環境の見直しの必要性を改めて実感する内容だった。
- 今回のセミナーは、不登校をテーマにしている、実際に参加できなかった人たちにもラジオを通じて内容を届けられたのがすごく良かったと思います。幅広い世代、たとえば親だけじゃなくて、祖父母とか、これから子育てする人たちにも関心を引くテーマで、タイミングも良かった。出演者も「尾木ママ」の話はわかりやすく信頼感があったし、親や子供から直接聞いた生の声が「なるほど」って感じで説得力ありました。それに、普段あまり知らない「子供教育法」についても触れられていて、教育の現状とか新しい法律について学べたのも大きな収穫だった。ただ、「子供中心の教育」って方向性はすごくいいが、実際に現場の先生たちにとっては、いろんな多様性に対応するのがすごく大変だろうなと感じました。理想は良いが、現実には簡単じゃないなっていうのが正直なところ。最後に酒井さんが言った「不登校の原因を掘り下げるより、これから子供がどうしたいかを見てあげるべき」という話が印象的でした。未来に目を向けていくっていうのが、これからの教育にとってすごく大事な視点だなと改めて思った。
- この番組は、不登校やその予備軍の子どもを持つ親だけでなく、多くの人にとって学びや気づきが多く、不登校の最新事情を知る良い機会だったと感じました。尾木ママの教育分野での人気と、通信制高校の運営で経験豊富な酒井秀光さんのわかりやすい話が絶妙な組み合わせでした。また、司会者も不登校について詳しい方で、安心して聞ける内容だったのも良かった。セミナーの内容を1時間に編集していましたが、フルで聞いても退屈しなかったのではないかと思います。ただ、ラジオという特性上、不登校経験者とその親の話が少し分かりづらかったのが残念でした。課題としては、今回の番組が「不登校は問題じゃない」と前向きに捉えられる人たちを応援する内容に偏っており、たとえばネット依存などで深刻な状況に陥っている人たちへの具体的な対処方法が示されなかった。また、通信制高校を経営する成美学園がスポンサーであり、広告的な印象が強まったのは少し気になりました。それでも、不登校への対応として選択肢が増えていることを知るだけでも、特に親たちにとっては有意義な番組だったと思います。
- この番組を通じて、「不登校」という言葉だけでなく「苦登校」という新しい概念を知り、非常に興味深く感じました。不登校をテーマにしたイベントで、尾木ママの優しく語りかける話し方や、アナウンサーの新保さんのテンポの良い進行が素晴らしく、全体的に聞きやすい内容だったと思います。特に、不登校経験者とその親御さん3人の体験談は印象的

でした。最初は「朝起きられない」といった話に甘えと感じてしまう部分もありましたが、話を聞くうちに寄り添う気持ちの大切さや、学校に行くことが辛いのは個人の問題だけではないという点に気づかされました。また、最後に登場した26歳の方が、不登校の経験を後悔していないと語っていたのは、とても感動的でした。一方で、尾木ママや酒井さんの過去の具体的な体験談がもう少し聞けたら良かったとも思いました。しかし、登壇者や経験者の話を通じて、不登校に悩む方々へのヒントや気づきが得られる内容であったことは間違いありません。教育の現場について全く知識がない私にとっても、とても学びが多く、わかりやすい番組でした。

- この番組は「不登校は問題ではない」という明確なメッセージを持ち、不登校に悩む人々や励ましを求める人に向けて、非常にわかりやすく構成されていました。不登校の現状についても、幅広い層が理解しやすい説明がされており、その点が良かったと感じました。一方で、登壇者や参加者の話が音声だけでは誰が話しているのか分かりにくい部分がありました。特に、飛び入り参加の方の声が少し聞き取りにくい場面もあり、音声メディアの難しさを感じました。ただし、主要な出演者である尾木ママや酒井さん、そしてアナウンサーの声は非常に聞きやすく、全体的には伝わりやすい番組だったと思います。
- この番組は「不登校は問題ではない」というテーマの意図を深く理解できる内容で、不登校を子どもや親の問題ではなく社会全体の課題として捉える重要性を示していました。特に、尾木ママが話した「子ども基本法」の定義の変革や現状についての説明が非常に勉強になりました。また、不登校をきっかけに子どもたちや親が「これでいいんだ」と安心し、次のステップに進むためのきっかけとなる内容だったと思います。中学生や高校生に限らず、心身ともに発達途上にある子どもたちを、どう社会で自立させていくかを考える機会になった点も評価できた。ただし、出演者の話が少し短く感じられ、もう少し掘り下げられるとさらに良かったのではないかと感じました。それでも全体的にはとても良い番組だったと思います。
- この番組は、参加したかったセミナーの内容をラジオで聞けて、とても良かった。CMなしで約1時間、テンポよく進行され、聞き取りやすいスピードで内容がスムーズに入って、あっという間の1時間でした。途中で、不登校の経験がある保護者や子どもへのインタビューがあり、それも非常に良いポイントでした。不登校児童が増えている現代において、「声」というアプローチが救いになる人も多いのではないかと感じました。今後は、親向けや子ども向けなど、それぞれに焦点を当てた不登校に関する番組がさらに増えてほしいと思います。子育て中の私にとって、とても勉強になる内容でした。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」（2024年12月16日）
- ② 当社のホームページに掲載（2024年12月17日）
- ③ 当社事務局に議事録備え置き（2024年12月17日～）

以上